

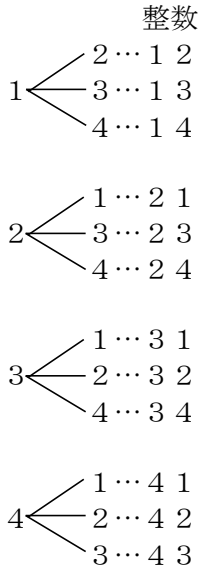
# 49

## いろいろな確率（カード編）→23へ

年 組 番 名前

**例題1** 1から4までの数字がかかれた4枚のカードがある。このカードをよくきって、1枚ずつ2回続けてひき、ひいた順に左から右へ並べ、2けたの整数を作る。このとき、できた整数が奇数となる確率を求めなさい。

[考え方] 樹形図を利用する。



上の図から2けたの整数の作り方は①通り。このうち、できた整数が奇数となるのは②通り。よって求める確率は

$$\frac{\text{②}}{\text{①}} = \text{③}$$

答え ①12 ②6 ③ $\frac{1}{2}$

問1 例1のとき、次の確率を求めなさい。

(1) その整数が3の倍数となる確率

上の図から整数が3の倍数になるのは12通りのうち4通り。よって求める確率は

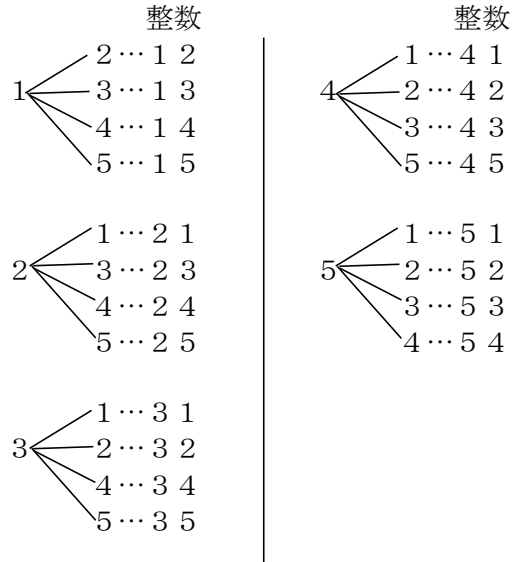
$$\frac{4}{12} = \frac{1}{3} \quad \text{答 } \frac{1}{3}$$

(2) その整数が23以上の数となる確率

上の図から整数が23以上になるのは12通りのうち8通り。よって求める確率は

$$\frac{8}{12} = \frac{2}{3} \quad \text{答 } \frac{2}{3}$$

問2 1から5までの数字がかかれた5枚のカードがある。このカードをよくきって、1枚ずつ2回続けてひき、ひいた順に左から右へ並べ、2けたの整数を作る。このようにしてできた整数について、次の確率を樹形図を利用して求めなさい。



(1) その整数が偶数となる確率

上の図から整数が偶数となるのは20通りのうち8通り。よって求める確率は

$$\frac{8}{20} = \frac{2}{5} \quad \text{答 } \frac{2}{5}$$

(2) その整数が3の倍数となる確率

上の図から整数が3の倍数となるのは20通りのうち8通り。よって求める確率は

$$\frac{8}{20} = \frac{2}{5} \quad \text{答 } \frac{2}{5}$$

(3) その整数が3の倍数または4の倍数となる確率

上の図から整数が3の倍数または4の倍数となるのは20通りのうち8通り。よって求める確率は

$$\frac{10}{20} = \frac{1}{2} \quad \text{答 } \frac{1}{2}$$